

平成30年度
自己点検・評価書
(学校評価報告書)

大阪教育大学附属天王寺小学校

1 附属〇〇学校の現況

(1) 学校名

大阪教育大学附属天王寺小学校

(2) 所在地

大阪市阿倍野区松崎町1-2-45

(3) 学級数・収容定員

18学級(1学年3学級) 収容定員630人(1学級35人)

(4) 幼児・児童・生徒数

620人(男子318名 女子302名)

(5) 教職員数

校長(併任)1人, 副校長1人, 主幹教諭1人, 教諭24人(うち, 臨時的雇用4人), 非常勤講師5人, 臨時非常勤講師4人, 事務職員1人, 臨時用務員(用務員)1人, 臨時用務員(調理師)7人, 教育後援会雇い事務職員1人, カウンセラー1人, 警備員2人

2 附属天王寺小学校の特徴

本校は, 大阪教育大学の附属する小学校で, 教育基本法及び学校教育法に基づいて義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを行う。

3 附属天王寺小学校の役割

- (1) 大学と一体となって, 教育の理論と実際に関する研究を行う。
- (2) 大学の教育実習機関として, 実習生を随時受け入れ, 適切な指導を行う。
- (3) 教育に関する理論を研究し, 教育実践に役立てる。
- (4) 現職教員に研修の場を提供する。

4 附属天王寺小学校の学校教育目標

個が生きる学校

- ・自他の人格を尊重し, 実践力のある子
- ・生命を尊重し, 健康で安全につとめる子
- ・みんなと協力してしごとのできる子
- ・自分でよく考え, すすんで実行できる子
- ・ものごとを最後までやりとおせる子
- ・きまりを守り, 明るくくらせる子

1 平成30年度 重点目標，具体的な取組内容，評価結果

| 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|------|--------------|---------|-----------|
| A | 高いレベルで達成できた | A | とても適切である |
| B | 達成できた | B | おおむね適切である |
| C | 一部達成できなかった | C | あまり適切でない |
| D | ほとんど達成できなかった | D | 適切でない |
| | | E | 判定できない |

※29年度と比較し，5%以上の変化が生じた項目を中心に改善点を述べている。5%未満の項目の改善については今後の検討課題とする。

| 本年度の 重点目標 (評価項目) | 具体的な取組内容 (評価指標) | 自己点検評価 | | | 学校関係者評価 | | 学校関係者評価を 踏まえた改善策 |
|---|---|---|---|----|--|----|---|
| | | 達成状況 | 課題 | 評価 | 意見・理由 | 評価 | |
| 教科教育 (学習指導) ・保護者の学習に対する理解を得て連携を図り，各教科の学習内容の確実な定着をめざす。 | <p>【取組内容】ノート指導を中心として，きちんとできるようになるまで繰り返し取り組ませるとともに，その児童の学習の取り組み方や，友だちとの関わり方のよさを適宜称賛することで有能感を高めるようにする。</p> <p>また，集会や個人懇談会の場で，学習面についての具体的な内容を伝え，理解が得られるような場を設定し，保護者との連携を図り，学習内容の確実な定着をめざす。</p> <p>【評価規準】本校の学習への取り組みについて，保護者が理解できたと回答する割合が9割以上でA，8割以上でB，7割以上でC，6割以下でDとする。</p> | <p>学習①（ノートづくり）に関して，低学年児童では，「授業を楽しみ，自分から家で話をしたり，ノートを見せたりしている」「お家の人に聞かれたら見せている」を合わせて78%←81%（29年度，以下29と表記する），中学年児童では，「自分の思いや考えを書いたノートづくりを，家の人にもノートをよく見せている」「ノートづくりを楽しんでいる」を合わせて87%←87%（29），高学年児童では，「自分の思いや考えを書いたノートづくり</p> | <p>29年度と比較し，児童の学習①（ノートづくり）が低学年，高学年で減少が顕著である。</p> <p>昨年度，学校関係者評価においてマンネリ化を起さない工夫が指摘されていたが，今年度はその問題が顕</p> | B | <p>ノート作りについて，効果が十分ではないのは，教員や児童の中に，共通の到達度目標がないからだ。</p> <p>また，ノート作りを目標にすることも大切だが，次年度は，目標の改訂も必要だ。</p> | B | <p>ノート作りの効果は，児童，保護者への適切なフィードバックが必要である。その点を次年度にも継承しつつ，更に違う観点で，目標を検討する。</p> |

| | | | | | | | |
|--|---|---|--|---|--|---|---|
| | | <p>を創意工夫することを楽しんでい 「心がけている」を合わせて72%←82% (29)であった。</p> <p>さらに、学習②(態度)に関して、全学年児童では「勉強がよくわかって楽しかった」と答えた児童が83%←82% (29)であった。</p> <p>保護者は、「十分に理解ができた」「ある程度理解ができた」を合わせて97%←93% (29),</p> <p>教員は、「十分に理解が得られた」「ある程度得られた」を合わせて95%←100% (29)であった。</p> | <p>在化したことが窺える。</p> <p>学習②(態度)においては昨年度と同様、多くの児童が、勉強の楽しさを味わえているが、低学年で、わかる楽しさの割合が減少していることは大きな課題である。</p> | | | | |
| <p>学級経営 ・互いの存在を尊重し合える学級作りに努める。</p> | <p>【取組内容】「Q-U」アンケートの結果をもとに、各学年とその学年に関わる教員とで連携を図り、個に応じた指導をすることともに、関わり方の成長を適宜称賛することで有能感を高めるようにする。</p> <p>また、集会や個人懇談会の場で、保護者との連携も図り、学級運営についての理解が得られるようにする。</p> <p>【評価規準】「Q-U」アンケート(6月、10月、2月の計3回実施)を使って、各学年とその学年に関わる教員とで共通理解を図り、手立てを講じて改善することができる。</p> | <p>児童は、学級のさまざまな場面で、「なかよく協力することができた」「協力することができた」を合わせて92%←95% (29), 「困っているとき、やさしくされたことに、よく気が付いた」「ときどき気が付いた」を合わせて95%←96% (29)であった。</p> <p>保護者は、担任の学級経営について、「十分である」「概ね十分である」を合わせて92%←93% (29)であった。</p> | <p>児童の友達との関係性は高学年では改善が見られるが、低学年での問題の広がりが見られる。</p> <p>また保護者の評価で、学級経営については成果と課題の両面を感</p> | B | <p>Q-Uアンケートは、個々の児童や学級の様子を読み取ることができる。そのデータを用いて、ケース会議を開き、予防に努めることが大切だ。</p> <p>また、学級担任だけで解決するのが困難になっている時代なので、組織対応や、専門的機関との連携が必要だ。</p> | B | <p>事後の対応だけではなく、予防的対応についての、組織的対応を検討する。</p> <p>また、専門的機関との連携を今年度以上に進めるようにする。</p> |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|---|--|
| | | <p>教員は、「学年当初よりも改善することができた」は79%←75% (29) であった。</p> | <p>じられていることが窺われる。次年度に向けて、具体的な方策を検討する必要がある。</p> | | | | |
| <p>生活・安全 ----- 清掃指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を美しくするため、責任をもって清掃活動ができるようにする。 ・自分の役割を自覚し、友だちと協力して清掃することができる。 | <p>【取組内容】清掃における自分の役割を自覚し、友だちと協力して清掃活動を進めることができるように指導する。</p> <p>【評価規準】自分の担当場所を、友だちと協力して清掃できた。</p> | <p>児童の意識を見てみると「がんばって掃除してきれいにできた」が81%←78% (29), 「いつも友だちと協力して、きれいになるように掃除をした」「だいたい…」を合わせて96%←98% (29) であった。</p> <p>保護者は、清掃①（態度）に関して、「子どもの清掃活動に取り組む姿勢は、責任をもって清掃ができるようになった」「概ねできるようになった」を合わせて85%←76% (29) であった。</p> <p>また清掃②（環境）に関して、「学校が前よりとても美しくなった」「前より美しくなった」を合わせて75%←44% (29) であった。</p> <p>教員は、「清掃方法の徹底ができた」「概ねできた」を合わせて91%←86% (29), 「責任</p> | <p>29年度と同様、児童の清掃態度について、保護者より、よい評価を受けているが、低学年、中学年児童への責任感の減少の指摘は問題として受け止める必要がある。</p> <p>また学校環境の改善について、保護者より大きく評価を上げているのは成果である。</p> | B | <p>清掃は、校内できているところ、できていないところの差が生じにくくする工夫が必要である。過去、縦割り班での清掃活動を行い、学校全体の児童の意識や、環境美化が高まったこともある。</p> | B | <p>児童の問題意識を高めるためにも、保護者との連携は効果がある。次年度も、親子清掃の頻度や内容を検討していく。</p> <p>また、縦割り班活動など、何らかの清掃の形式の工夫も検討する。</p> |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | をもって清掃活動に取り組めるように支援を、十分にすることができた」「概ねすることができた」を合わせて95%←96% (29) であった。 | | | | | |
| <p>ソーシャルスキル ・対人関係の基本的なマナーやルールを守り（「配慮」のスキル）、人とかかわるきっかけや関係の維持、感情交流の形成（「かかわり」のスキル）ができるようにする。</p> | <p>【取組内容】日々の授業や特別活動において、ソーシャルスキルが高まるような取り組みを進め、給食や清掃、休み時間や放課後など学校生活の様々な場面で指導する。</p> <p>【評価規準】対人関係の基本的なルールやマナーを守り、他者とよりよくかかわろうとしている。</p> | <p>児童は、「友達の気持ちを考えて、いつも行動することができた」「たいてい…」を合わせて97%←95% (29) であった。</p> <p>保護者は、「子どもはいつも友達とよりよく関わろうとしている」「たいてい…」をあわせて98%←99% (29) で、教員は、「友達とよく関わろうとするように指導できた」「概ね指導できた」を合わせて96%←100% (29) であった。</p> | <p>「なかよく協力する」ことを高学年児童で向上が見られるが、低学年児童で減少が見られる。</p> <p>保護者よりは、高い評価を得ているが、教員は、指導が不十分であったことを自覚していることが窺える。</p> | B | <p>ソーシャルスキルとはそもそも何なのか、その定義や、具体的な下位目標の設定が必要だ。</p> <p>またソーシャルスキルを高めるためには、集団で一つの目標に向かって努力することが大切だ。</p> | B | <p>評価項目を検討し、ソーシャルスキルの下位目標を設定する。</p> <p>また、本校の行事を通じた、協調性や主体性を高めるよさを維持しつつ、より充実させる努力をする。</p> |
| <p>登下校指導 周囲の状況に配慮し、安全に登下校できるようにする。</p> | <p>【取組内容】登下校時の様子の把握に努め、周囲の状況に合わせて歩いたり、乗車したりできるように指導する。</p> <p>【評価規準】登下校時刻を守り、周りの人に迷惑をかけないように、周囲をよく見て安全に行動できている。</p> | <p>児童は、登下校（注意）に関して、「周りの様子に気をつけながら、安全に下校することができた」が74%←73% (29)、登下校（時刻）に関して、「下校の時刻を確認し、毎日</p> | <p>29年度と比べ、児童は下校の様子は変わりなく、時刻については不十分であっ</p> | B | <p>登下校の児童の安全を守るためには、全員対象のGPS機能がついたサービスを再開することが必要だ。</p> <p>しかし、一方で、ス</p> | B | <p>過去行っていた全員対象の登下校通知システムのよさを再検討する。</p> <p>大阪府の動向をふまえつつ、情報</p> |

| | | | | | |
|---|--|---|---|--|---|
| | | <p>守ることができた」「守ることができた」を合わせて91%←94% (29) であった。</p> <p>保護者は、「周りの安全に気をつけながら登下校することができていた」が42%←52% (29) であった。</p> <p>教員は、登下校指導①(時刻)に関して、「下校時刻を守らせるように徹底することができた」「概ねできた」を合わせて100%←100% (29), 登下校指導②(注意)に関して、「周囲に注意しながら安全に下校させるように、年間を通して指導することができた」「概ね指導することができた」を合わせて100%←100% (29) であった。</p> | <p>たと感じているようだ。</p> <p>一方、保護者、教員は、下校態度の不十分さを感じており、ギャップが見られた。児童の問題意識を高めることが課題である。</p> | <p>スマートフォンなどに頼らなくても、自分の力で、または自分で大人の方に交渉したりする力をつけたいといけな</p> | <p>教育を視野にいれた、対応を行う。</p> |
| <p>健康教育 ----- 保健指導 ・衛生意識を高める。</p> | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任及び保健委員会の活動と連携して啓発・調査を行う。 ・定期的に結果をまとめ、学級や朝礼で啓発する。 <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健委員会、学級担任によるエプロン ・マスク・帽子(又は三角巾)の調査・指導を適時行い、着用できている児童の割合が9割以上である。 | <p>児童は、給食の準備について、「もともとできていた」「できるようになった」を合わせて94%←93% (29), つめを切ることについて、「きちんと」「のびたら」を合わせて92%←92% (29) であった。</p> <p>また保護者は、保健・給食指導の取り組みについて、「十分である」「概ね十分である」</p> | <p>給食準備については、低学年児童、高学年児童に、自ら課題を感じていることが窺える。</p> <p>保護者、教員評価は、概ね高いことよ</p> | <p>B</p> <p>そもそも健康教育に給食やつめの様子は、目標として狭すぎる。</p> <p>睡眠、朝食、食育など、広い視野から、目標を設定する必要がある。</p> | <p>B</p> <p>目標を検討し、子どもの実態や課題がみられるものに変更する。</p> |

| | | | | | | | |
|---|---|--|--|---|--|---|--|
| | <p>・学級担任による爪を切るよう指導を行い、爪を切っている児童の割合が9割以上である。</p> | <p>を合わせて98%←91% (29)であった。</p> <p>教員は保健指導①(給食)に関して、「給食準備中の身支度や手洗いの指導で、多くの児童ができるようになった」「できるようになった」を合わせて90%←93% (29)、保健指導②(衛生)に関して、「つめを切るように指導し、児童が適切な長さであった」「多くの児童が…」を合わせて、88%←84% (29)であった。</p> | <p>り、これまでの指導を継続しつつ、子ども達への自覚を促すことが必要である。</p> | | | | |
| <p>その他 ----- 業務見直し ・学校行事 ・PTA活動</p> | <p>【取組内容】今年度、労働時間縮減に対する業務の見直しを行う。学校行事を含めた教員の業務を整理し、来年度につなげる。また、PTA活動についても同様に行う。</p> | <p>出版物の発行回数を減らしたり、18時以降の留守電対応にしたりして、教員の労働時間縮減の対策をした。また、PTA活動についても、次年度に引き継ぐものを精選し、よりよいPTA活動が展開できるように取り組みを始めている。</p> | <p>学校行事やPTA活動を精選することで、業務量、勤務時間の改善を行った。</p> <p>次年度も継続的に調査し、その課題を洗い出していく必要がある。</p> | B | <p>教員しかできない業務、教員でなくてもよい業務がある。その区別と具体的な対応について、さらに検討を進めることが大切。</p> | B | <p>今年度、PTAの方の協力により、業務改善が進んだ。次年度、その方向性を大切にしつつ、教育の質の向上をめざして努力する。</p> |

児童アンケート 29年度と比較し、5%以上増加を青字、減少を赤字とする。

| | |
|---|-----|
| 1. 学習について①（低学年） | 低 |
| 授業を楽しみ、自分から家で楽しかったことを話したり、がんばったノートなどを見せたりしている。 | 45% |
| 授業を楽しみ、お家の人に聞かれたら、楽しかったことを話したり、がんばったノートなどを見せたりしている。 | 33% |
| 授業のことを、お家の人に聞かれたら、話をしたり、ノートをなどを見せたりしている。 | 16% |
| お家の人に授業のことを、ほとんど話をしないし、何も見せない。 | 6% |

| | |
|--|-----|
| 1. 学習について①（中学年） | 中 |
| 自分の思いや考えを書いたノートづくりを楽しみ、家の人にもノートを見せている。 | 57% |
| 自分の思いや考えを書いたノートづくりをして、家の人にもノートを見せている。 | 30% |
| 黒板をうつし、家の人にもノートを見せている。 | 11% |
| 黒板もうつすことも不十分で、家の人にもノートを見せていない。 | 2% |

| | |
|--|-----|
| 1. 学習について①（高学年） | 高 |
| 自分の思いや考えを書いたノートづくりをして、創意工夫することを楽しんでいる。 | 27% |
| 自分の思いや考えを書いたノートづくりをして、創意工夫することを心がけている。 | 45% |
| 自分の思いや考えを書いたノートをとときどきつくっている。 | 25% |
| 自分の思いや考えを書いたノートをつくらない。 | 3% |

| | | | | |
|-----------------------|-----|-----|-----|-----|
| 2. 学習について② | 全 | 低 | 中 | 高 |
| 勉強がよくわかって楽しかった。 | 83% | 85% | 89% | 74% |
| 勉強はわかったが、あまり楽しくなかった。 | 14% | 10% | 9% | 22% |
| 勉強はあまりわからなかったが、楽しかった。 | 3% | 4% | 2% | 4% |
| 勉強がわからないし、楽しくもなかった。 | 0% | 0% | 0% | 1% |

| | | | | |
|---------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 3. 友だちについて① | 全 | 低 | 中 | 高 |
| 学級の友だちとさまざまな場面で、なかよく協力することができた。 | 72% | 71% | 75% | 69% |
| 学級の友だちとさまざまな場面で、協力することができた。 | 20% | 19% | 20% | 20% |
| 学級の友だちとさまざまな場面で、ときどき協力することができた。 | 8% | 9% | 5% | 9% |
| 学級の友だちとさまざまな場面で、協力することができなかった。 | 1% | 1% | 0% | 2% |

| | | | | |
|---------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 4. 友だちについて② | 全 | 低 | 中 | 高 |
| 困っているとき、やさしくされたことに、よく気が付いた。 | 69% | 72% | 72% | 61% |
| 困っているとき、やさしくされたことに、ときどき気が付いた。 | 26% | 23% | 25% | 31% |
| 困っているとき、やさしくされたことに、あまり気が付かなかった。 | 4% | 5% | 2% | 5% |
| 困っているとき、やさしくされたことにまったく気が付かなかった。 | 1% | 1% | 0% | 3% |

| | | | | |
|----------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 5. そうじについて① | 全 | 低 | 中 | 高 |
| 担当の場所を、がんばって掃除してきれいになりました。 | 81% | 85% | 86% | 72% |
| 担当の場所を、掃除したがあまりきれいにならなかった。 | 15% | 14% | 11% | 19% |
| 担当の場所を、あまり掃除できなかった。 | 4% | 1% | 3% | 10% |

| | | | | |
|------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 6. そうじについて② | 全 | 低 | 中 | 高 |
| いつも友だちと協力して、きれいになるように掃除をした。 | 64% | 70% | 74% | 47% |
| だいたい友だちと協力して、きれいになるように掃除をした。 | 32% | 26% | 23% | 48% |
| 友だちと協力して掃除ができなかった。 | 4% | 4% | 2% | 5% |

| | | | | |
|------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 7. 友だちとのかかわりについて | 全 | 低 | 中 | 高 |
| 友だちの気持ちを考えて、いつも行動することができた。 | 52% | 56% | 58% | 42% |
| 友だちの気持ちを考えて、たいいてい行動することができた。 | 45% | 42% | 41% | 51% |
| 友だちの気持ちを考えて、あまり行動できなかった。 | 3% | 2% | 1% | 6% |
| 友だちの気持ちを考えて、まったく行動できなかった。 | 0% | 0% | 0% | 1% |

| | | | | |
|------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 8. 下校について① | 全 | 低 | 中 | 高 |
| 周りの様子に気をつけながら、安全に下校することができた。 | 74% | 89% | 75% | 56% |
| 前とあまり変わらなかった。 | 25% | 9% | 24% | 42% |
| 周りの様子を見ないで下校をしていた。 | 1% | 1% | 0% | 1% |
| 安全に下校することができなかった。 | 1% | 0% | 0% | 2% |

| | | | | |
|-----------------------|-----|-----|-----|-----|
| 9. 下校について② | 全 | 低 | 中 | 高 |
| 下校の時刻を確認し、毎日守ることができた。 | 50% | 55% | 54% | 41% |
| 下校の時刻を確認し、守ることができた。 | 41% | 40% | 43% | 41% |
| 下校の時刻をあまり守ることができなかった。 | 8% | 4% | 3% | 16% |
| 下校の時刻を全く守ることができなかった。 | 1% | 1% | 0% | 2% |

| | | | | |
|--------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 10. 給食の準備について | 全 | 低 | 中 | 高 |
| もともと給食準備中の身支度や手洗いができていた。 | 63% | 66% | 66% | 58% |
| 給食準備中の身支度や手洗いができるようになった。 | 31% | 31% | 30% | 34% |
| 給食準備中の身支度や手洗いがあまりできなかった。 | 5% | 3% | 4% | 8% |

| | | | | |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|
| 11. つめを切ることについて | 全 | 低 | 中 | 高 |
| もともとつめをきちんと切っていた。 | 55% | 50% | 64% | 53% |
| つめがのびたら切るようになった。 | 37% | 40% | 31% | 38% |
| あまりつめを切らなかった。 | 8% | 10% | 5% | 9% |

保護者アンケート 29年度と比較し、5%以上増加を青字、減少を赤字とする。

| I. 学年 | 全校 | 低学年 | 中学年 | 高学年 |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 数(人) | 389 | 158 | 126 | 105 |
| 回答率(%) | 63 | 76 | 61 | 52 |

| II. 学習指導 | 全 | 低 | 中 | 高 |
|-------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 本校の学習への取り組みについて、十分に理解できた。 | 62% | 73% | 52% | 57% |
| 本校の学習への取り組みについて、ある程度理解できた。 | 35% | 25% | 43% | 40% |
| 本校の学習への取り組みについて、あまり理解できなかった。 | 2% | 2% | 4% | 1% |
| 本校の学習への取り組みについて、ほとんど理解できなかった。 | 1% | 0% | 1% | 2% |

| III. 学級経営 | 全 | 低 | 中 | 高 |
|------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| お子さんの学級担任の学級運営について、十分である。 | 61% | 72% | 46% | 64% |
| お子さんの学級担任の学級運営について、概ね十分である。 | 31% | 23% | 39% | 33% |
| お子さんの学級担任の学級運営について、やや不十分である。 | 6% | 4% | 11% | 1% |
| お子さんの学級担任の学級運営について、不十分である。 | 2% | 1% | 4% | 2% |

| IV1. 清掃活動 | 全 | 低 | 中 | 高 |
|-----------------------|-----|-----|-----|-----|
| 責任をもって清掃ができるようになった。 | 34% | 39% | 28% | 31% |
| 概ね責任をもって清掃ができるようになった。 | 51% | 54% | 50% | 47% |
| 以前とあまり変わらない。 | 13% | 6% | 20% | 17% |
| 掃除ができていないとはいえない。 | 3% | 1% | 2% | 5% |

| IV2. 清掃活動 | 全 | 低 | 中 | 高 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|
| 学校が前よりとても美しくなった。 | 21% | 25% | 12% | 27% |
| 学校が前より美しくなった。 | 54% | 60% | 56% | 42% |
| 前とさほど変わらない。 | 24% | 14% | 32% | 30% |
| 学校があまり美しいとは言えなくなった。 | 1% | 1% | 1% | 1% |

| V. ソーシャルスキル | 全 | 低 | 中 | 高 |
|------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 子どもは、いつも友だちとよりよくかかわろうとしている。 | 61% | 67% | 56% | 58% |
| 子どもは、たいてい友だちとよりよくかかわろうとしている。 | 37% | 32% | 41% | 39% |
| 子どもは、あまり友だちとよりよくかかわろうとしていない。 | 2% | 1% | 3% | 3% |
| 子どもは、全く友だちとよりよくかかわろうとしていない。 | 0% | 0% | 0% | 0% |

| VI. 登下校指導 | 全 | 低 | 中 | 高 |
|--------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 周りの安全に気をつけながら登下校することができていた。 | 42% | 52% | 30% | 42% |
| 前とあまり変わらなかった。 | 49% | 39% | 60% | 52% |
| 周りの安全に気をつけながら登下校することができていなかった。 | 9% | 9% | 10% | 6% |

| VII. 保健・給食指導 | 全 | 低 | 中 | 高 |
|----------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 保健・給食指導の取り組みについて、十分である。 | 54% | 64% | 46% | 48% |
| 保健・給食指導の取り組みについて、概ね十分である。 | 44% | 35% | 52% | 49% |
| 保健・給食指導の取り組みについて、やや不十分である。 | 2% | 1% | 2% | 4% |
| 保健・給食指導の取り組みについて、不十分である。 | 0% | 0% | 0% | 0% |

※2学期にアンケートをお願いしました防災宿泊訓練、運動会、附天小祭りについて結果を報告します。

※記述での回答については、次年度の検討資料として引き継ぎさせていただきます。

□防災宿泊訓練

アンケート回答者 165名（お子さんが参加した67名、お子さんと保護者が参加した29名、保護者のみ参加した1名、参加しなかった68名）

○お子さんは今回の宿泊訓練で楽しく学べたと思えますか。※防災宿泊参加児童のみ対象

※「全く思わない～非常に楽しく学べた」を5段階評価

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----|----|-----|-----|-----|
| 7% | 1% | 30% | 16% | 46% |

○来年度 防災宿泊訓練に参加しようと思えますか。

| はい | いいえ |
|-----|-----|
| 78% | 22% |

□運動会

アンケート回答者 211名（1年生43名、2年生45名、3年生34名、4年生33名、5年生35名、6年生21名）

○今年度の運動会全般について、満足度を評価してください。5段階評価

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----|----|-----|-----|-----|
| 0% | 1% | 18% | 39% | 42% |

□附天小祭り

アンケート回答者 208名（参観または参加した165名、参観または参加しなかった43名）

○お子さんは附天小祭りに楽しんで参加できていましたか。5段階評価

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----|----|----|-----|-----|
| 2% | 4% | 4% | 19% | 71% |

【資料：アンケート結果】※29年度と比較し、5%以上増加を青字、減少を赤字とする。
(全体評価のみ比較)

教員アンケート

※1, 2: 赴任1, 2年目教員 3, 4: 赴任3, 4年目教員, 5~: 赴任5年目以上教員

| 本校赴任年数 | 1, 2年目 | 3, 4年目 | 5年目以上 |
|--------|--------|--------|-------|
| 数 (人) | 12 | 6 | 6 |

| I. 学習指導 ※主に担任教諭が回答 (回答者19人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5~ |
|--------------------------------------|-----|------|------|----|
| 学習の取り組みについて、保護者に伝え、十分に理解が得られた | 42% | 3 | 1 | 4 |
| 学習の取り組みについて、保護者に伝えある程度理解が得られた | 53% | 5 | 4 | 1 |
| 学習の取り組みについて、保護者に伝えしたが、あまり理解は得られなかった。 | 5% | 1 | 0 | 0 |
| 学習の取り組みについて、ほとんど伝えられず、理解も得られなかった | 0% | 0 | 0 | 0 |

| II. 学級運営 ※主に担任教諭が回答 (回答者19人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5~ |
|---|-----|------|------|----|
| 個に応じた指導について、学年に関わる教員や保護者と連携を図り、学年当初よりも改善することができた。 | 79% | 7 | 3 | 5 |
| 個に応じた指導について、学年に関わる教員や保護者と連携を図ったが、学年当初とあまり変わらなかった。 | 16% | 1 | 2 | 0 |
| 個に応じた指導について、学年に関わる教員や保護者と連携を図ったが、学年当初より芳しくない結果となった。 | 5% | 1 | 0 | 0 |

| III. 清掃指導① (回答者22人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5~ |
|---------------------------|-----|------|------|----|
| 清掃分担場所の清掃方法の徹底ができた。 | 32% | 2 | 3 | 2 |
| 清掃分担場所の清掃方法の徹底が概ねできた。 | 59% | 6 | 3 | 4 |
| 清掃分担場所の清掃方法の徹底があまりできなかった。 | 9% | 2 | 0 | 0 |
| 清掃分担場所の清掃方法の徹底が全くできなかった。 | 0% | 0 | 0 | 0 |

| IV. 清掃指導② (回答者23人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5~ |
|--|-----|------|------|----|
| 子どもたちが責任をもって清掃活動に取り組めるように支援を十分にすることができた。 | 43% | 4 | 4 | 2 |
| 子どもたちが責任をもって清掃活動に取り組めるように支援を概ねすることができた。 | 52% | 6 | 2 | 4 |
| 子どもたちが責任をもって清掃活動に取り組めるように支援をあまりできなかった。 | 4% | 1 | 0 | 0 |

| V. ソーシャルスキル ※主に担任教諭が回答 (回答者23人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5~ |
|---------------------------------|-----|------|------|----|
| 友だちとよりよくかかわろうとするよう指導できた。 | 57% | 4 | 4 | 5 |
| だちとよりよくかかわろうとするよう概ね指導できた。 | 39% | 6 | 2 | 1 |
| 友だちとよりよくかかわろうとするようあまり指導できなかった。 | 4% | 1 | 0 | 0 |
| 友だちとよりよくかかわろうとするよう全く指導できなかった。 | 0% | 0 | 0 | 0 |

| VI. 登下校指導① ※主に担任教諭が回答 (回答者21人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5~ |
|--------------------------------|-----|------|------|----|
| 児童に下校時刻を守らせるように徹底することができた。 | 57% | 6 | 2 | 4 |
| 児童に下校時刻を概ね守らせることができた。 | 43% | 3 | 4 | 2 |
| 児童に下校時刻を守らせることができなかった。 | 0% | 0 | 0 | 0 |

| VII. 登下校指導② ※主に担任教諭が回答 (回答者20人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5~ |
|---------------------------------------|-----|------|------|----|
| 周囲に注意しながら安全に下校させるように年間を通して指導することができた。 | 40% | 1 | 3 | 4 |
| 周囲に注意しながら安全に下校させるように概ね指導することができた。 | 60% | 7 | 3 | 2 |
| 安全に気をつけながら下校するように指導することができなかった。 | 0% | 0 | 0 | 0 |

| VIII. 保健指導① ※主に担任教諭が回答 (回答者20人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5~ |
|------------------------------------|-----|------|------|----|
| 給食準備中の身支度や手洗いを指導し、多くの児童ができるようになった。 | 50% | 3 | 3 | 4 |
| 給食準備中の身支度や手洗いを指導し、児童ができるようになった。 | 40% | 5 | 2 | 1 |
| 給食準備中の身支度や手洗いを指導したが、できる児童が増えなかった。 | 10% | 1 | 0 | 1 |
| 給食準備中の身支度や手洗いを指導しなかった。 | 0% | 0 | 0 | 0 |

| IX. 保健指導② ※主に担任教諭が回答 (回答者19人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5~ |
|-----------------------------------|-----|------|------|----|
| つめを切るように指導し、多くの児童が適切な長さであった。 | 26% | 2 | 1 | 2 |
| つめを切るように指導し、児童が適切な長さであった。 | 63% | 6 | 3 | 3 |
| つめを切るように指導したが、きちんとつめを切る児童が増えなかった。 | 11% | 1 | 1 | 0 |
| つめを切るように指導しなかった | 0% | 0 | 0 | 0 |

X. 業務改善① ※30年度より

昨年度より、終業時刻を意識して勤務できていますか。
 ※赴任1年目教職員は、前任校と比較して回答してください。

| 終業時刻の意識 (回答者24人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5～ |
|------------------|-----|------|------|----|
| はい | 92% | 11 | 5 | 6 |
| いいえ | 0% | 0 | 0 | 0 |
| どちらでもない | 8% | 1 | 1 | 0 |

XI. 業務改善② ※30年度より

昨年度より、勤務時間内に行う業務量が増えましたか。
 ※赴任1年目教職員は、前任校と比較して回答してください。

| 勤務時間内の業務量の増加 (回答者23人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5～ |
|-----------------------|-----|------|------|----|
| はい | 48% | 4 | 3 | 4 |
| いいえ | 22% | 2 | 2 | 1 |
| どちらでもない | 30% | 5 | 1 | 1 |

XII. 業務改善③ ※30年度より

業務サポートスタッフ(司書教諭, AET, インターン学生, ボランティア学生)への業務依頼により、1日あたり、平均何分程度の業務軽減効果があったと感じられていますか
 ※効果が顕著であった時期を想定してお答えください。

| 1日あたりの業務軽減効果 (回答者21人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5～ |
|-----------------------|-----|------|------|----|
| 15分未満 | 5% | 1 | 0 | 0 |
| 15～30分未満 | 33% | 3 | 1 | 3 |
| 30～45分未満 | 52% | 6 | 4 | 1 |
| 45～60分未満 | 10% | 0 | 1 | 1 |
| 60分以上 | 0% | 0 | 0 | 0 |

XIII. 業務改善④ ※30年度より

今年度の業務改善(職員室環境改善, 時間割の工夫, 専科教員のフォロー体制, タイムマネジメント研修, HPの改定, PTAによる業務, 行事のサポート等)により、子どもと向き合う時間(わかりやすい授業を行う【授業準備】, 子どもの話をよく聴く【学級経営】, 問題のある行いを正す【生活指導】など)を、1日あたり平均何分程度の確保できるようになったと感じられていますか。 ※効果が顕著であった時期を想定してお答えください。

| 1日あたり子どもと向きあ時間の確保 (回答者22人) | 全体 | 1, 2 | 3, 4 | 5～ |
|----------------------------|-----|------|------|----|
| 15分未満 | 18% | 4 | 0 | 0 |
| 15～30分未満 | 14% | 2 | 0 | 1 |
| 30～45分未満 | 18% | 2 | 2 | 0 |
| 45～60分未満 | 18% | 1 | 2 | 1 |
| 60分以上 | 32% | 1 | 2 | 4 |

XIV. 業務改善⑤ ※30年度より

現在、負担に感じる業務は何ですか(複数回答可)

□1, 2年目教員 (全12人)

臨海学舎5人, 問題対応協議5人, 学期末成績処理3人, 学芸会2人, 広報活動2人, 児童への生活, 安全指導2人, 日常の授業準備2人, 日常の成績処理1人, 教室環境整備1人, 給食指導1人, 清掃指導1人, 林間学舎1人, 入学調査1人, 研究発表会1人, 研究会議1人, 備品管理1人

□3, 4年目教員 (全6人)

臨海学舎2人, 日常の成績処理1人, 学期末成績処理1人, 問題対応協議1人, 運動会1人, 入学調査1人, 研究発表会1人, PTA関連活動1人, 備品管理1人

□5年目以上教員 (全6人)

学期末成績処理3人, 問題対応協議3人, 備品管理3人, 学芸会1人

XV. 業務改善⑥ ※30年度より

現在、やりがいを感じる業務は何ですか(複数回答可)

□1, 2年目教員 (全12人)

日常の授業準備8人, 児童への生活, 安全指導5人, 授業改善4人, 運動会3人, 教育実習3人, 学芸会3人, 研究発表会3人, 林間学舎2人, 問題対応協議1人, 教室環境整備1人, 遠足1人, 臨海学舎1人, 研究会議1人

□3, 4年目教員 (全6人)

研究発表会5人, 研究会議4人, 日常の授業準備4人, 授業改善4人, 臨海学舎4人, 運動会4人, 学芸会4人, 入学調査4人, 児童への生活, 安全指導3人, 給食指導3人, 清掃指導3人, 附天小まつり3人, 教育実習2人, PTA関連活動2人, 教室環境整備2人, 問題対応協議2人, 広報活動2人, 入学式1人, 卒業式1人, 備品管理1人, 学期末成績処理1人, 遠足1人, 林間学舎1人

□5年目以上教員 (全6人)

研究発表会5人, 教育実習5人, 研究会議4人, 臨海学舎4人, 日常の授業準備4人, 授業改善3人, 児童への生活, 安全指導3人, 教室環境改善3人, 学芸会3人, 運動会3人, 入学調査2人, 林間学舎2人, 附天小まつり2人, 遠足2人, 入学調査2人, 広報活動1人, 給食指導1人, 清掃指導1人, 入学式1人, 卒業式1人, 職員会議1人, 備品管理1人